



歩くことを目的とする愛着醸成プログラム

#あなたと街をむすび丸 プロジェクト

住むチーム「あなたと街をむすび丸」

尾門 あいり・小川内 浩平

菊田 将也・佐畑 翔

鈴木 槇之介・丹野 裕太

AGENDA

1.グループの取り組み

2.あなむすチームの
具体的アクション



1.グループの取り組み



1. グループの取り組み - フィールドワーク -

事業者

no data

仙台に飲食店を
開業したオーナー (県外出身)

仙台の特徴として、
「**ことなかれ主義**」を感じる
▼
「**愛着**」の醸成が欠けている?
(2020.10.1)

事業者

no data

地元タウン誌を発行する
事業者

地域への愛着醸成として、
「**地域の魅力を発見する
きっかけづくり**」が大事
(2020.12.2)

学術



宮城大学 事業構想学群
小地沢将之 准教授

自分ごととして取り組むにあたり
「**生活にかかわるまちづくり**」
は愛着を育みやすい。
「**自身が現在困っていること**」の
課題設定が必要。
(2020.11.24)

地域への「**愛着**」をキーワードに
「**魅力を発見するきっかけ**」や「**身の回りの生活にかかわる課題設定**」が重要

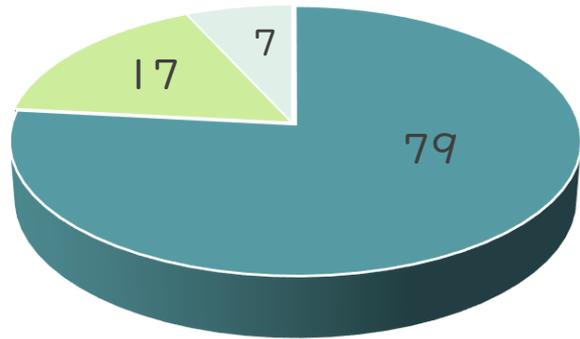
1. グループの取り組み - アンケート -

実施期間: 2020年11月~12月

回答者数: 103名

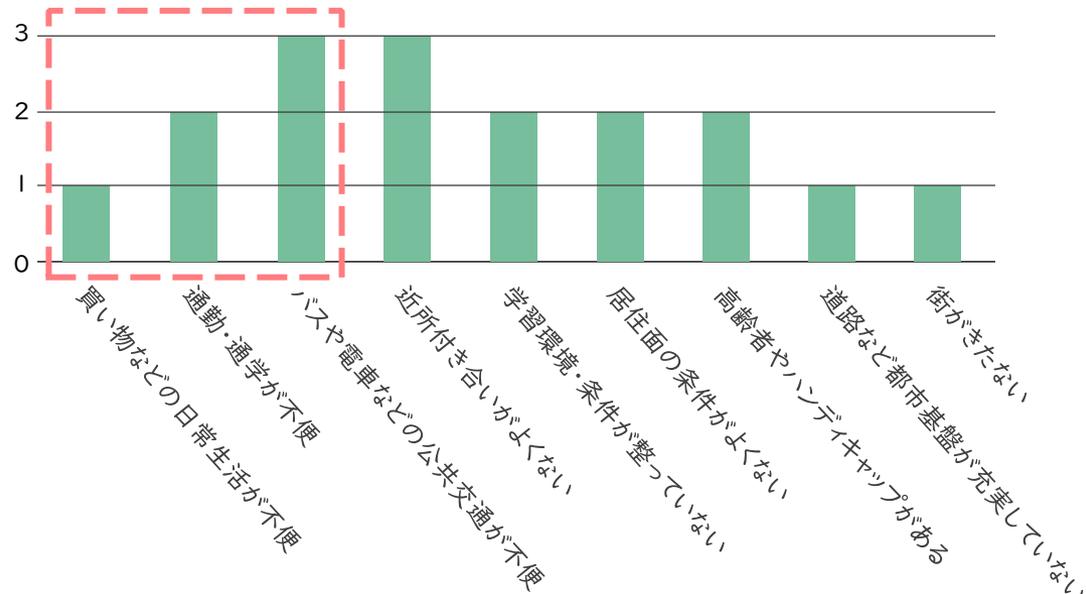
属性 出身: 仙台市26名、その他宮城県23名、その他東北地方30名、東北地方以外24名
年代: 10代3名、20代58名、30代23名、40代14名、50代以上5名

項目: 出身地、仙台の居住歴、仙台に住んだ理由、仙台の住みやすい点・住みにくい点
今後も住みたいか、仙台への愛着度 etc...



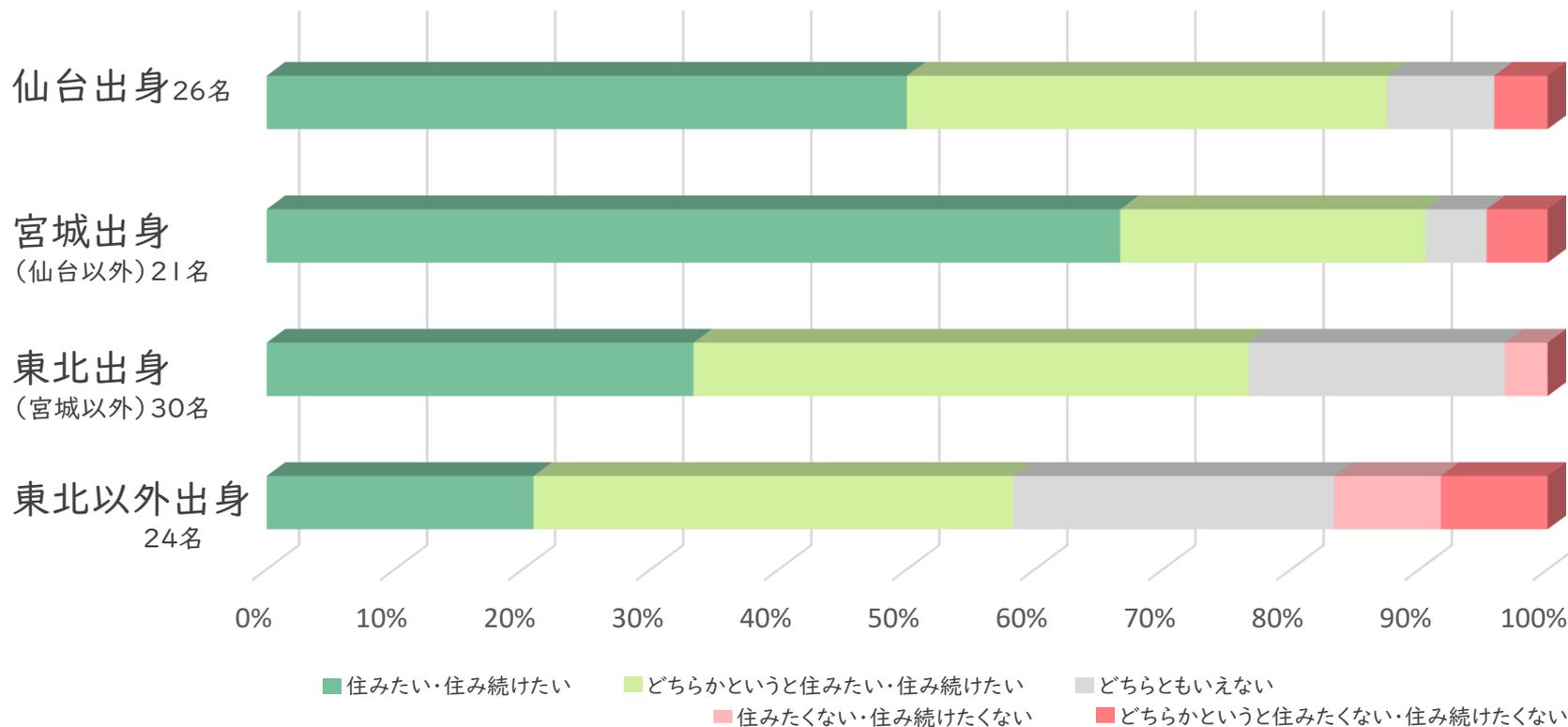
- 住みたい・住み続けたい / (どちらかということを含む)
- どちらともいえない
- 住みたくない・住み続けたくない / (どちらかということを含む)

他都市と比べた仙台市の住みにくい点
(生活に関わる16項目から複数選択(その他自由記述項目あり))



1. グループの取り組み -アンケート-

出身地別の仙台市への居住意向



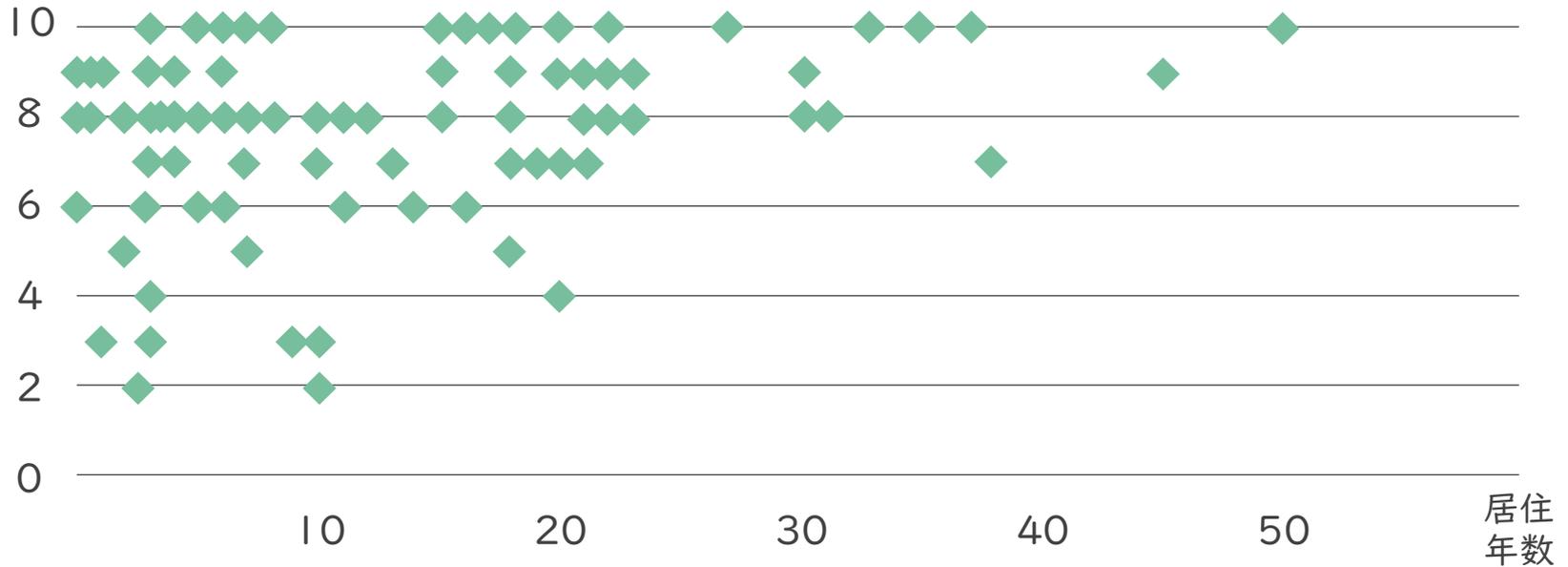
地元出身者のほうが仙台市に住み続けることに対して肯定的な意見が多い

→地元出身=愛着度が高いほどポジティブ?

1. グループの取り組み - アンケート -

仙台市への愛着度

愛着度



居住歴が長いほど愛着の下限が高い傾向がある。

仙台に住みたいと思わせるためには・・・

愛着 を醸成する必要があるのでは？

×

利点・課題として挙がっていた

交通

に着目して愛着を醸成

#あなたと街をむすび丸 プロジェクト

「移動手段」ではなく「歩くこと」自体を目的とするまちづくりによって、
魅力発見やにぎわい創出につなげ、仙台への愛着醸成に寄与する



2.アクション-あなむすプロジェクト-

1

仙台あなむすウォーカー

仙台のヒト・モノ・コトをめぐり、仙台への愛着を醸成できるアプリ

2

#あなむす

SNS連携し仙台の魅力を広く発信でき、初めて仙台に来た人もキャッチアップ可能

3

PJ連動オフ会

定期的にオフ会を企画し、アプリを通して人と人のつながりをつくる



2.アクション-あなむすプロジェクト-



仙台あなむすウォーカー

仙台のヒト・モノ・コトをめぐり、仙台への愛着を醸成できるアプリ

概要

- 歩数カウントができ、仙台を歩きたくなる仕組み



2.アクション-あなむすプロジェクト-



仙台あなむすウォーカー

仙台のヒト・モノ・コトをめぐり、仙台への愛着を醸成できるアプリ

概要

- 歩数カウントができ、仙台を歩きたくなる仕組み
- おすすめのお店を検索でき、店舗をめぐるスタンプラリーが可能
- 自分のおすすめを他ユーザーに共有できる
- 店舗だけではなく、市民おすすめのヒト・モノ・コトもめぐるができる



2.アクション-あなむすプロジェクト-



むつ★Walker

「ウォーキングによる健康増進」を目的とした歩数カウントアプリ。

ランキングやチャレンジ機能があり、ミッションクリアにより景品の獲得ができる。



八戸さんぽマイスター

ガイドさん案内のもと、地元の人々と触れ合いながら八戸のまち歩きを楽しめる。

コースが複数あり、ディープでマニアックな体験ができる。



長崎さるく

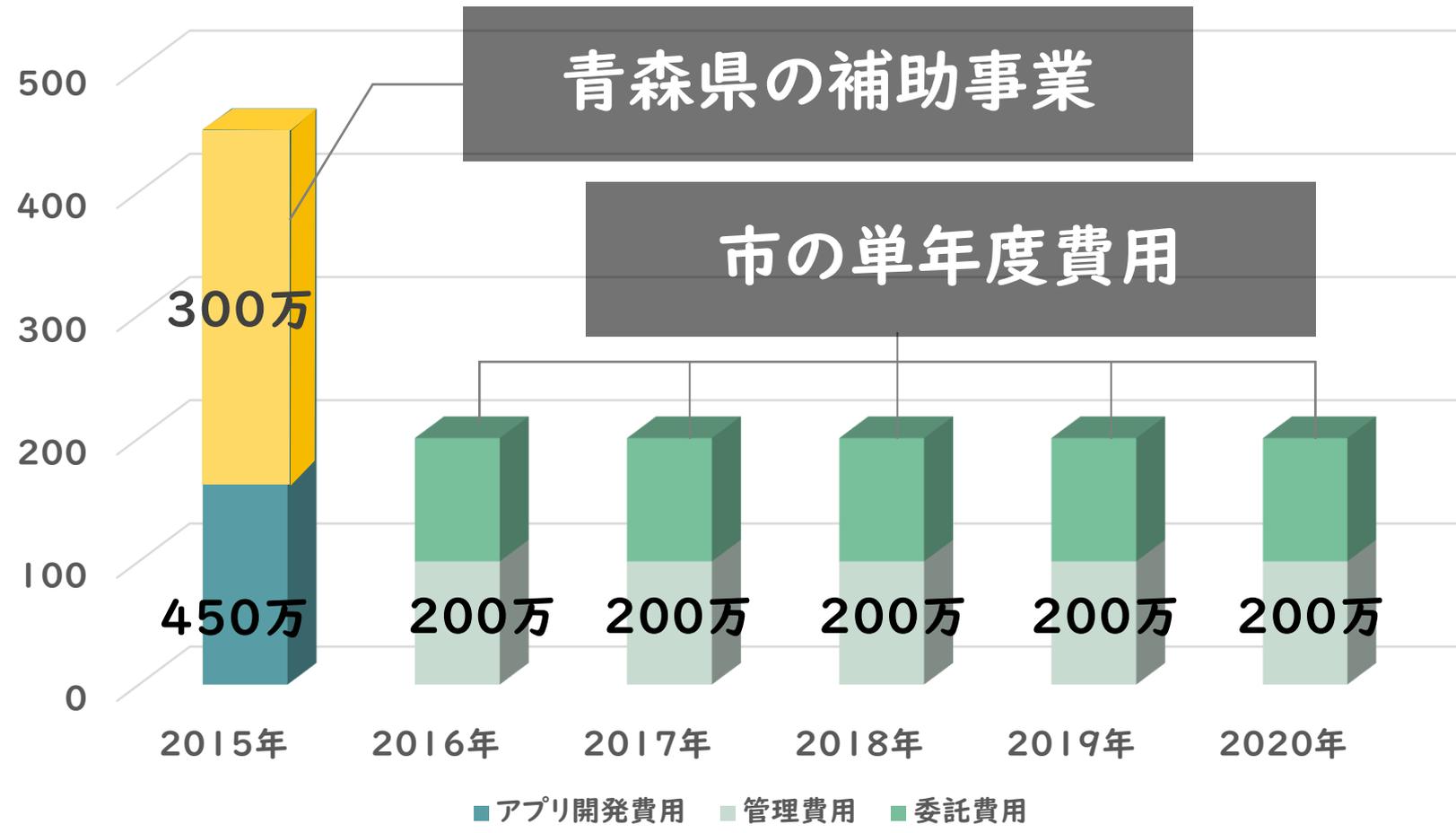
まち歩き観光を通して長崎の魅力を知る。

長崎のまちを知りつくした地元の方がガイドを務め、長崎の歴史や文化を堪能することができる。

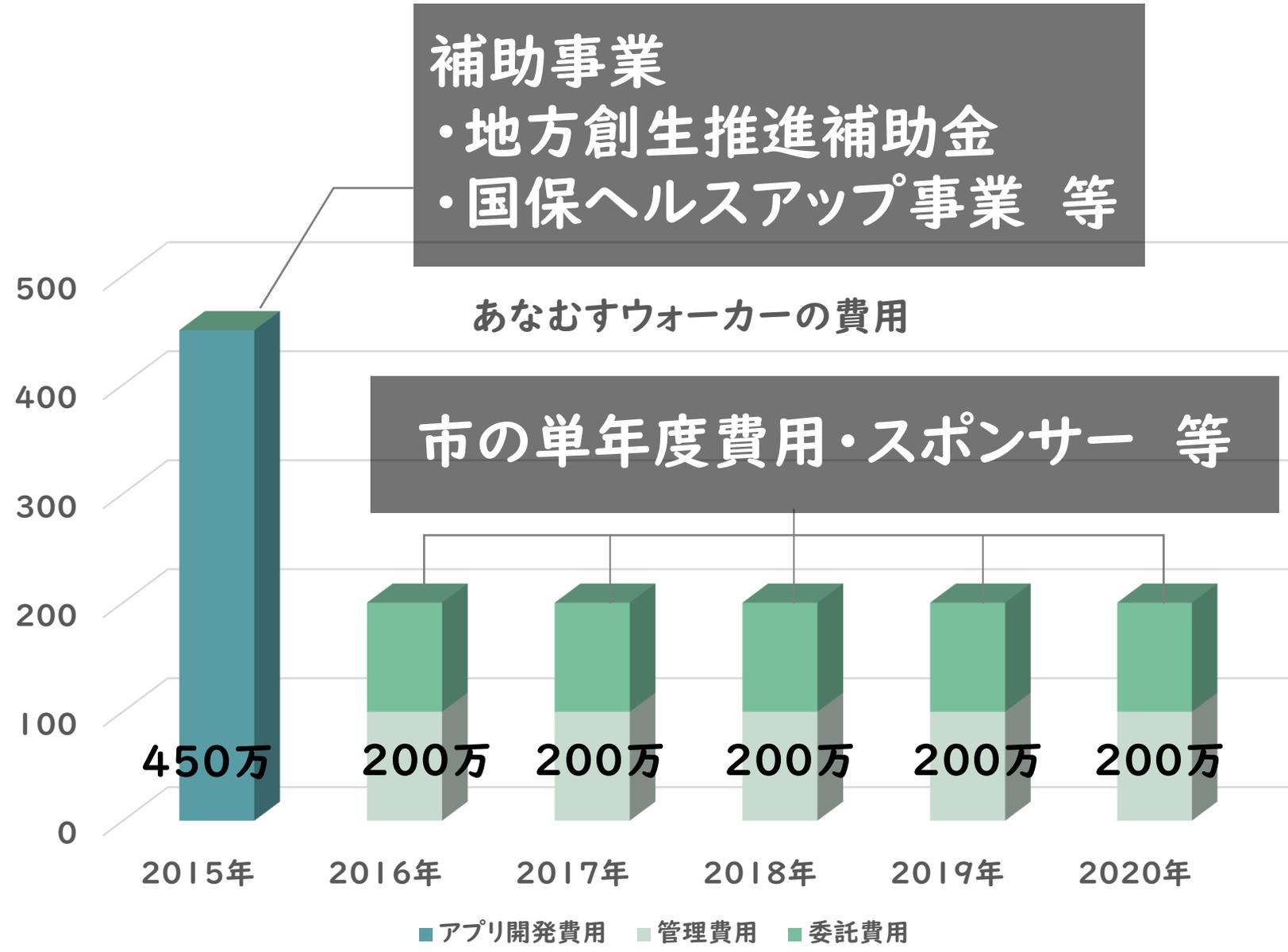
2.アクション-あなむすプロジェクト・コスト-

参考:むつ★Walker

むつ★ウォーカーの費用



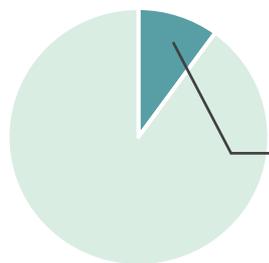
2.アクション-あなむすプロジェクト・コスト-



2.アクション-あなむすプロジェクト・効果-

【むつ市】

むつ☆ウォーカー参加者



市の人口全体の
10%がダウンロード済

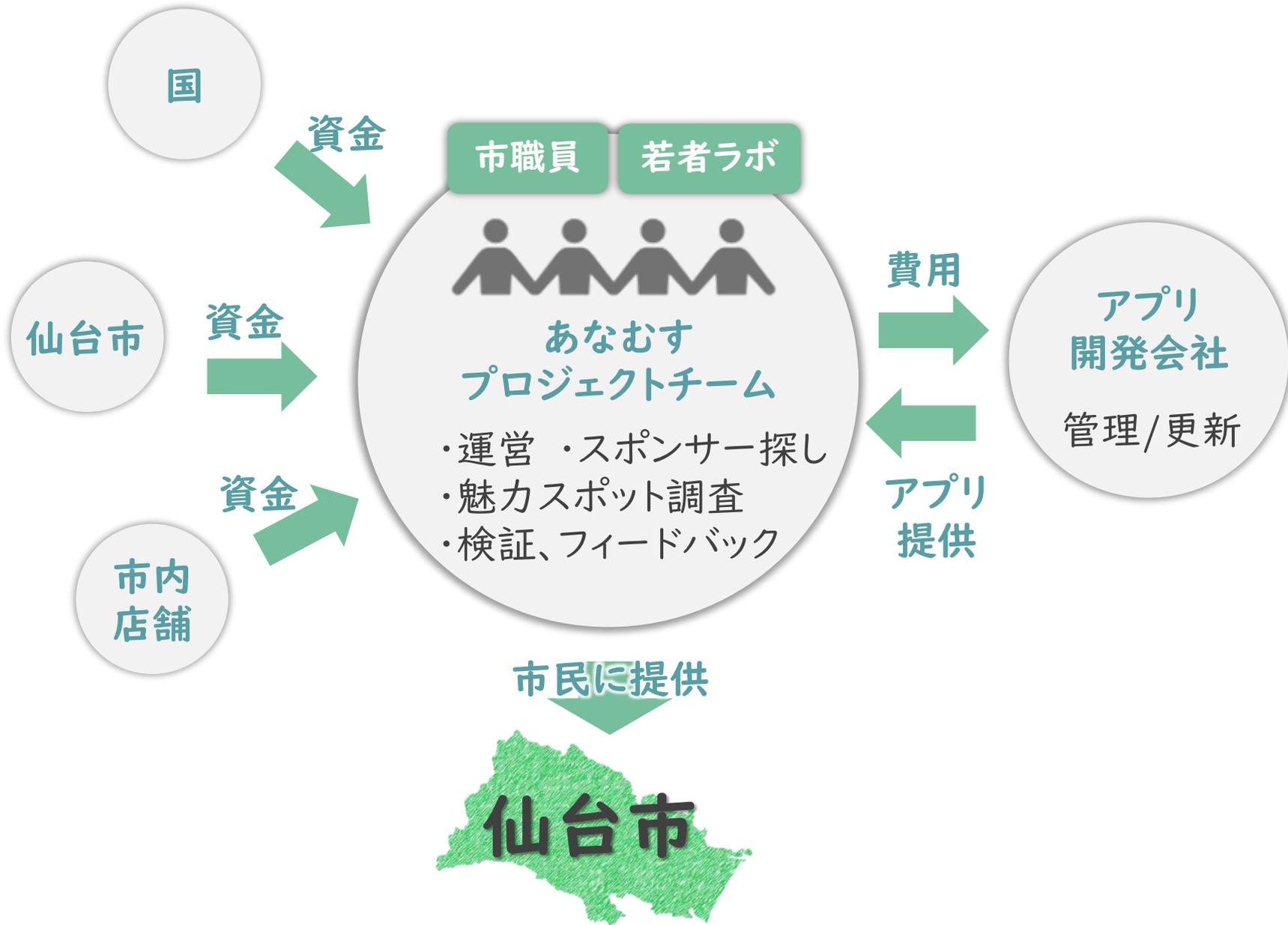
【仙台市】

人口110万人：10万人程度が利用

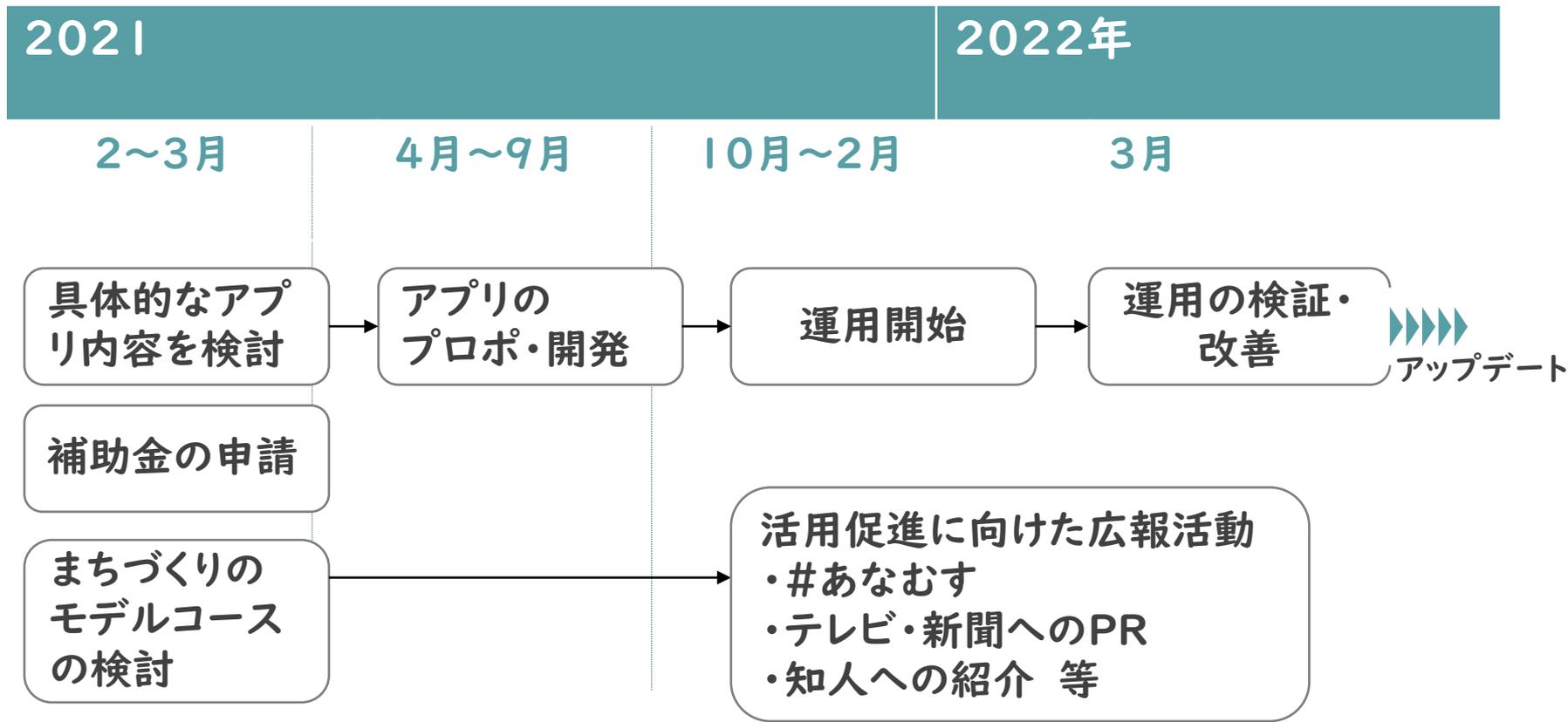
10万人×10%×1,400歩×0.045円/歩/日×200日

= 1億2,600万円 の医療費削減効果

2.アクション-あなむすプロジェクト・スキーム-



2.アクション-ロードマップ-



#あなたと街をむすび丸 プロジェクト

転入者

オフ会

旅行者

#あなむす



地元民

#あなたと街をむすび丸 プロジェクト

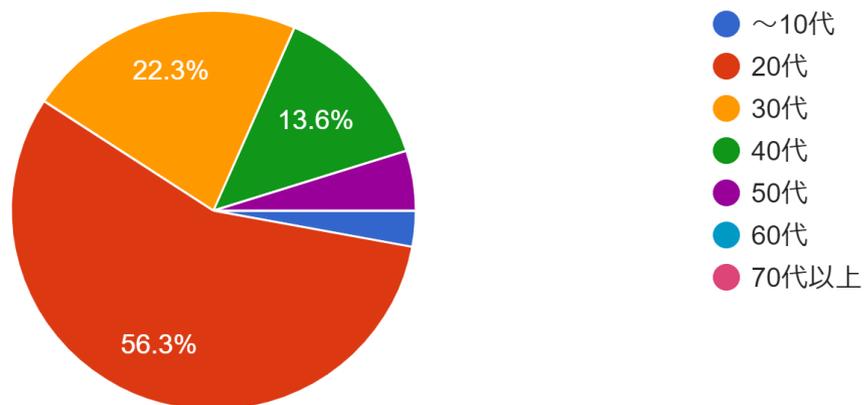
complete.



【補足資料】アンケート結果概要

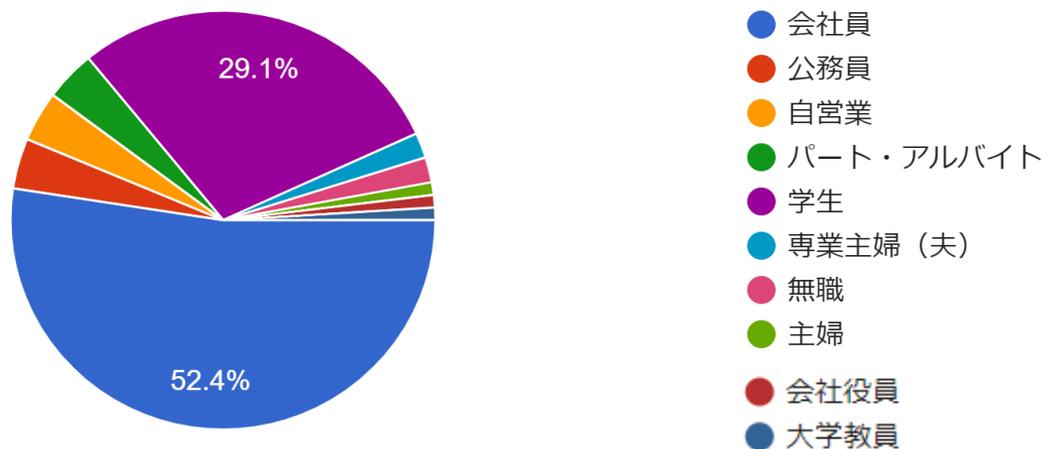
年齢

103 件の回答



職業

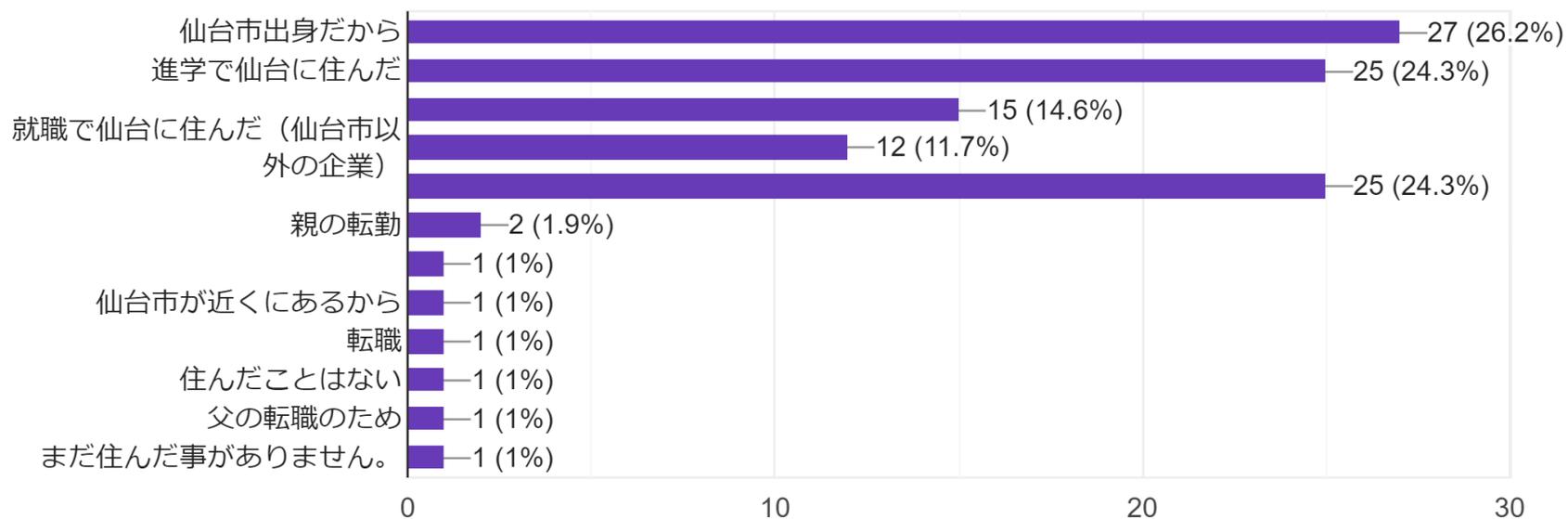
103 件の回答



【補足資料】アンケート結果概要

仙台市に住んだ理由を教えてください

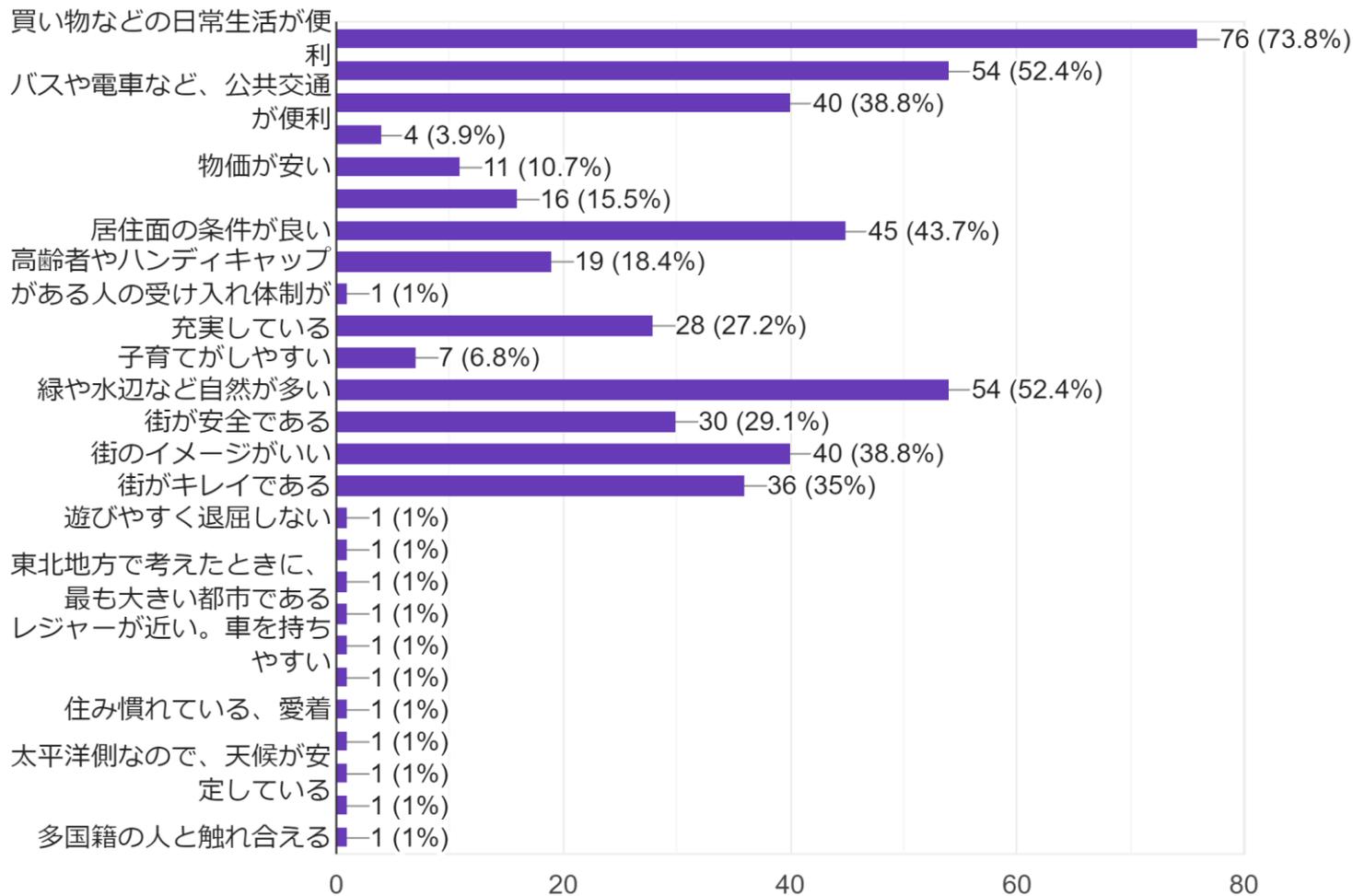
103件の回答



【補足資料】アンケート結果概要

(他都市と比べて) 仙台の住みやすい点を教えてく...当てはまるものすべてにチェックしてください

103件の回答



【補足資料】アンケート結果概要

今後も仙台市に住みたいと思いますか。

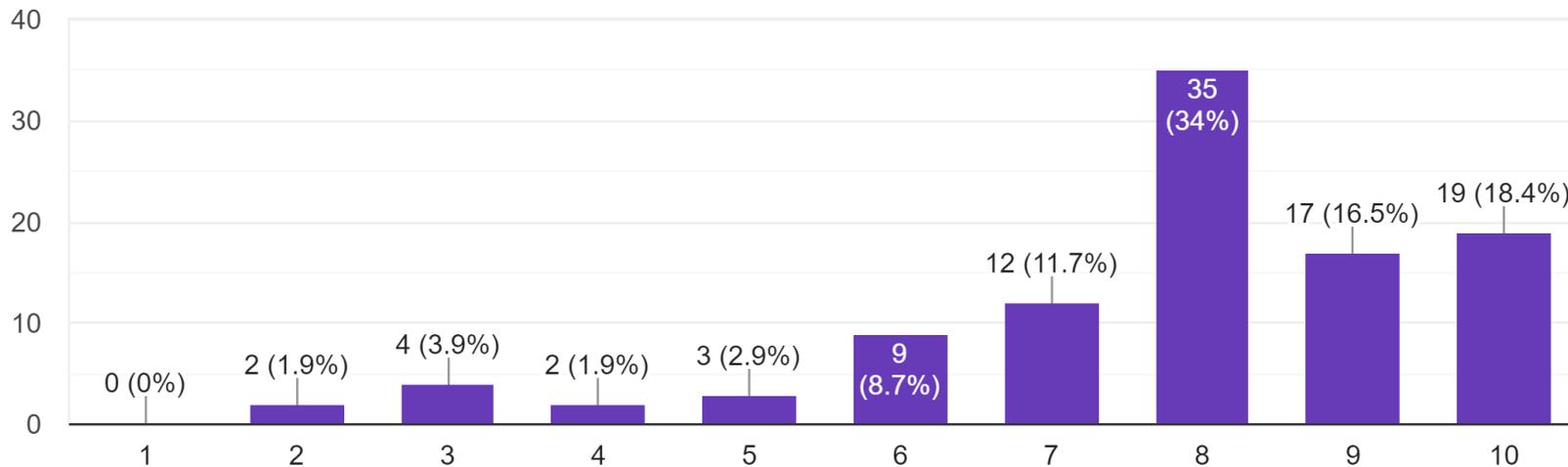
103 件の回答



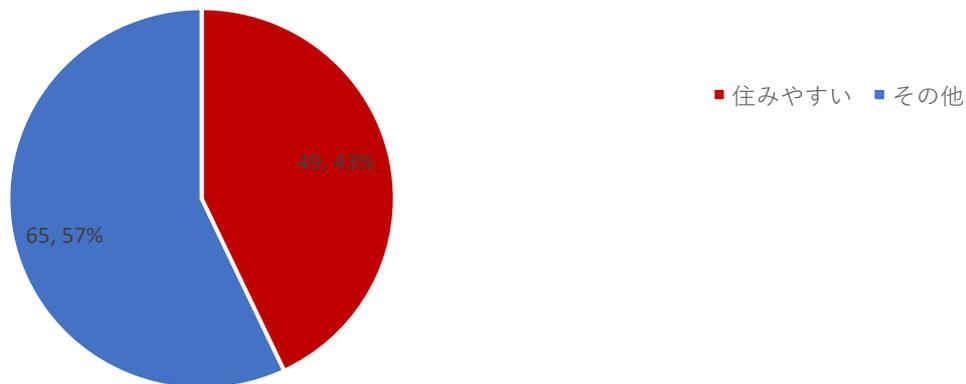
【補足資料】アンケート結果概要

仙台市への愛着度を教えてください

103件の回答



愛着度の理由 回答103名



5. 医療費抑制効果の見える化（原単位の試算）

資料5



- 「歩く」ことの心身に及ぼす影響は多種多様、気分転換やストレス発散等のリラックス効果、脳や免疫機能の活性化、体脂肪低下や代謝の向上等のメタボ予防効果等の健康増進効果が存在
- 既往の研究・報告等は多くないが2つに大別、歩行による医療費抑制効果の原単位を整理
 - ①特定の集団の経年的な調査から医療費抑制効果を把握 : 0.045～0.061円/歩/日
 - ②特定の疾病の発症リスクの低減効果から医療費抑制効果を把握 : 0.0015～0.0044円/歩/日
- ①の結果を一人あたり医療費の経年的な上昇傾向から補正すると : 0.065～0.072円/歩/日

1日+1,500歩で年間約3万5千円の医療費抑制効果（一人あたり年間医療費約40万7千円※1）

→ これらの原単位を活用して医療費抑制効果の見える化することも考えられる

■ 特定の集団の経年的な調査による歩行の医療費抑制効果

医療費抑制額	研究機関等※7	算出方法
0.045円/歩/日	辻一郎 他 東北大学大学院医学系研究科教授	1日10分間歩行(1,000歩)で1,341円/月の医療費抑制効果※2より試算※8
0.061円/歩/日	久野譜也 他 筑波大学大学院人間総合科学研究科教授	新潟県見附市における健康教室参加者の医療費抑制効果から算出※3
0.030円/歩/日 (入院外医療費)	駒村康平 他 慶応義塾大学経済学部教授	1日あたり歩行量(歩数)が1歩違うことにより年間の医療費(入院外医療費)11円/歩の医療費抑制効果※4より試算※8

■ 特定の疾病の発症リスクの低減効果からみた歩行の医療費抑制効果

医療費抑制額	研究機関等※6	算出方法
0.0015円/歩/日	野田光彦 他 国立国際医療研究センター病院糖尿病・代謝症候群診療部	歩行量(歩数)と糖尿病を中心とした疾患の発症リスク低下の研究論文を集め、中年期の1,000人をモデルに試算3,000歩により10年間で1,569万円の医療費抑制効果より算出※5
0.0044円/歩/日	厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部 会、次期国民健康づくり運動プラン策定専門委員会	1日1,500歩の増加は、NCD発症・死亡リスク約2%減少に相当すること※6から、平成25年度国民医療費(厚生労働省)よりNCD医療費を45-74歳約6兆円と仮定し試算※8

※1 厚生労働省:医療費の地域格差(平成26年度)から40～74歳の一人あたり年間医療費を国土交通省により算出

※2 辻一郎:健康長寿社会を実現する「2025年問題」と新しい公衆衛生戦略の展望,大修館書店,pp.90-152,2015

※3 久野譜也:ICTと超高齢化対応の「健康都市」-Smart Wellness Cityによる健康長寿世界の実現を目指して-,ICT超高齢社会構想会議第2回WG,2013年1月24日

※4 隅田和人,上村一樹,白石憲一,駒村康平:健康ポイントが全国展開した時の波及効果シミュレーション,第12回 Smart Wellness City 首長研究会,2015年7月21日

※5 Kato M,Goto A,Tanaka T,Sasaki S,Igata A,Noda M:Effects of walking on medical cost: A quantitative evaluation by simulation focusing on diabetes.Journal of Diabetes Investigation,4(6),667-672,2013

※6 厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会,次期国民健康づくり運動プラン策定専門委員会:健康日本21(第2次)推進に関する参考資料,pp104-110,平成24年7月

※7 論文,報告書等発表当時の所属機関・部署等

※8 医療費抑制効果を1日1歩あたりの原単位として国土交通省により算出